

半澤友美展 **Self: multiple presents**

数年前から、祖母とお茶をして話をするのが毎日の習慣となっています。認知症と診断された祖母との会話は、現在も過去も、夢も現実も1つの時間として混ざり、循環しているようです。揺らぎながらも、確固たる彼女を見続ける中で、その存在について考えるようになっていきました。

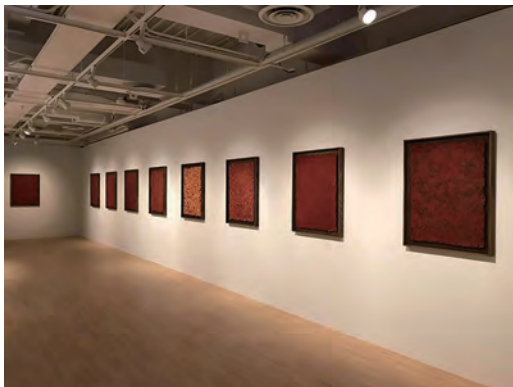
私は「紙」をただの支持体ではなく、それ自体が人間の物語を内包する物体として捉えています。世界中で作り、使われ続けている紙は、基本的制作方法は似ているものの、実はとても個性的で、作られた場や時間、状況によって異なる造形物なのです。その上で私は「紙 = 作品」を作ることが存在や自己への考察につながっています。

今回展示する作品《Self》は、水に溶いた木材パルプ(紙の原料)を大きなスポイトで1滴ずつ垂らし重ね、プレスして「紙」にした作品です。その1滴を経過した時間の中にある出来事の断片、もしくは「今」そのものを固定化したものだと考え、それらを紙にし、またその紙を重ね並べることで、さまざまな「今」を絡み合わせていきます。時間は直線上に流れるものだと捉えられがちですが、自在に遊離し、現在に重層化していくことで、自己の形成に影響しているのではないのでしょうか。今回の展示では、祖母の記憶のように、過去も未来も、夢も現も「multiple presents / 複数の今」として絡み広がる様子を展示します。作品として広がる「紙」により、私たち自身、人について思考を深めることに繋がればと思います。

2023年11月 半澤友美



『Self』2019年 - 2022年



『The Histories of the Self』2020年

略歴

1988年生まれ。2010年女子美術大学立体アート学科卒業。2018年度ポーラ美術振興財団若手芸術家在外研修員としてアメリカ、メキシコ、カナダにて研修。現在主に東京都を拠点に活動。

紙漉きの手法を応用し作品を展開。紙を人間の物語が内包するオブジェクトと捉え、その構造やプロセスを辿ることで自己や人間を取り巻く環境や構造、その背景について考察している。

近年の主な展覧会に、国際現代芸術祭「中之条ビエンナーレ 2023」(中之条町 / 群馬、2023年)、「シン・ジャパニーズ・ペインティング」(ポーラ美術館 / 神奈川、2023年)、「皮膚で「見る」 The Eyes of Skin」(MARUEIDO JAPAN / 東京、2023年)、個展「Narrative Act」(DiEGO 表参道 / 東京、2022年)、「PAPER: かみと現代美術」(熊本市現代美術館 / 熊本、2022年)、個展「Note」(MARUEIDO JAPAN / 東京、2020年)、「ポーラ ミュージアム アネックス展 2020年 - 真正と発気 -」(ポーラ ミュージアム アネックス / 東京、2020年)、個展「半澤友美 The Histories of the Self」(ポーラ美術館 アトリウムギャラリー / 神奈川、2019年)などがある。

Tomomi Hanzawa

Born 1988 in Tochigi. Lives and works in Tokyo. B.F.A., Sculpture Course, Joshibi University of art and design in 2010. Recipient of a Pola Art Foundation Grant for Overseas Study by Young Artists in 2018. She was a visiting artist and took the training in the paper studio in the SouthWest School of Art in San Antonio, Texas ,and She researched about papermaking in some parts of United States, Mexico and Canada.

In her work with paper, she considers identity and the state of the self. Paper always gives her an incentive. Paper is the structure of intertwined fibers. There is a fact that paper has been made in various places around the world in different ways according to the environment and it has been developed for various purposes. Considering this fact, we can say that paper itself can be already considered as an object including our human story in itself. She unravels the story and superimpose it with "now" by tracing the paper structure and process, and questioning its origins.

Tomomi' s exhibition highlights include, International contemporary art festival NAKANOJO BIENNALE 2023, (Japan, 2023), Shin Japanese Painting: Revolutionary Nihonga, Pola Museum of Art (Japan, 2023), The Eyes of Skin (MARUEIDO JAPAN, Japan, 2023) , Solo Exhibition "Narrative Act" (DiEGO OMOTESANDO, Japan, 2022) A Quest into the World "with" PAPER, Contemporary Art Museum, Japan, 2022, Solo Exhibition "Note" (MARUEIDO JAPAN, Japan, 2020), Pola Museum Annex Exhibition 2020 "Authenticity and Aura" (Pola museum annex, Japan, 2020)、Solo Exhibition "The Histories of the Self" (Atrium Gallery, Pola Museum of Art, Japan, 2019) .

2024年1月5日 | 金 | - 3月17日 | 日 | 10:00 - 18:00 観覧無料

休館日 1月15日 | 月 |、2月19日 | 月 | - 22日 | 木 |、3月11日 | 月 |・12日 | 火 | ロゼシアター休館日に休館いたします。

特別講座 **アーティストトーク** 1月14日 | 日 | 13:30 - 14:30 無料・申込不要

■ 最新情報はHP・facebookをご参照ください。

主催 富士市 主管 一般社団法人富士芸術村

ふじ・紙のアートミュージアムは、紙を素材とした芸術作品を展示します。そして、「つなげる・つながる」をテーマに芸術文化活動をしていきます。当ミュージアムが拠点となり、富士市全体がミュージアムになることを願っています。2016年11月1日開館

- 交通 車の場合は、東名富士インターチェンジより約2.3km、国道1号より約2.2km、新富士駅より約2.2km、富士駅より約2.6km
バスの場合は、JR富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター入口」で下車し徒歩2分
新幹線JR新富士駅(北口バス停)から15分「ロゼシアター前」下車
*発車駅によって到着するバス停が異なりますのでお帰りの際はご注意ください。
- 駐車場 富士市文化会館ロゼシアターの駐車場をご利用ください。
*ロゼシアター開催の公演により混雑場合があります。



ふじ・紙のアートミュージアム
Fuji Paper Art Museum

〒416-0953 静岡県富士市蓼原町1750番地 富士市文化会館ロゼシアター1階 東側翼
TEL.0545-32-6581 FAX.0545-32-6582 <https://www.fuji-paperart.jp>